

今後の防災については

～ 引き続き防災・減災体制の強化に努める ～



現在、配布している防災のしおり



く どう とも き
工 藤 友 生

市民クラブ

質

防災について、市民との情報共有にどう取り組んでいくのか。

答 市長

防災のしおりの改訂版の作成・配布を予定しており、土砂災害防止法に基づく危険箇所については、県の調査・指定完了後に※ハザードマップを作成し、周知するよう考えています。

質

今後の非常に厳しい財政状況が予想される中、限られた財源と人材で、最大限の行政サービスを提供していくために、行政評価の重要性はますます高まってくると思うが、現状と課題は。

答

財政課長

※PDCAサイクルにより行政評価を実施し、行政事務の効率化、適正化を図っているところです。

今後も重点施策を中心とした行政サービスの提供と併せて、持続可能で健全な財政運営

行政評価システムの現状と課題は

行政事務の効率化、適正化を図り、
財政情報の提供により、説明責任を果たす

今後の地域活性化は

これから地域を担う若者が重要

質

産業振興、市の自主財源の確保、雇用の場の確保等につながる若者等の起業に対する支援の取り組みは。

答

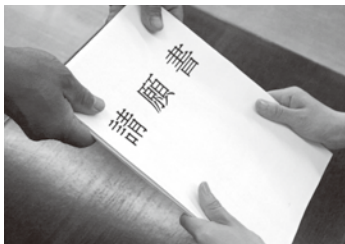
地域創生課長

国の産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を申請し、本年5月に認定を受け、この計画に基づき、創業者、希望者、創業者を対象とした窓口相談を実施しています。

県においては、おおいスターアップセンターを設置し、起業家に対する助成制度も用意されています。

ハザードマップ＝自然災害が発生した場合に想定される被害範囲や避難場所、避難経路などを地図化したもの。
PDCAサイクル＝計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)を繰り返すことで継続的に業務を改善する手法。

あなたの意見や要望



請願・陳情

●ヘイトスピーチ対策について法整備の拡充を求める請願

本請願は部落解放同盟大分県連合会豊後大野市連絡協議会（紹介議員宮成昭義、工藤友生）から請願が提出されました。

【請願趣旨（一部）】

政府においては表現の自由・言論の自由に配慮しつつも、ヘイトスピーチ対策に法整備を含めた強化策を速やかに検討し実施することを要望するものです。

【本会議での討論】

賛成討論

特定の個人や集団の人々の基本的人権を蹂躪する誹謗中傷を一方的に行い、また人種差別思想の流布や人種差別の煽動など、表現の自由を逸脱しているヘイトスピーチは規制されてしかるべきだと思う。

我々は人種等を差別のない社会の実現に向け、一層

積極的に取り組んでいかねばなりません。憲法で保護されるべき表現の自由に基づく正当な言論活動までもが規制されることのない法整備を望む。

全会一致で



議員発議でヘイトスピーチ対策について法整備の拡充を求める意見書を提出し、全会一致で可決、国の関係機関へ意見書を送付しました。

●少人数学級などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元および制度の拡充をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請

本請願は大分県教職員組合大野支部（紹介議員衛藤竜哉）から請願が提出されました。

【請願趣旨（一部）】

①少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。

②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1へ還元・拡充すること、この2点の実現されるよう、関係機関へ意見書提出を請願するものです。

【本会議での討論】

賛成討論

本請願は30人以下学級の推進を求めている。改正義務教育標準法に定める、まずは35人学級の拡大を促進

するためにも、採択すべきである。少人数学級を拡大すれば、教職員が1人ひとりの子どもに丁寧な対応、きめ細やかな対応ができるようになる。

賛成討論

教育に使う国家予算は未来への先行投資である。子ども達に最善の教育環境を提供していくことは我々の使命であり、社会的責任である。教育を財源論だけで語るべきものではないと考える。

賛成多数で



議員発議で本請願の意見書を提出し、賛成多数で可決、国の関係機関へ意見書を送付しました。